

平成28年度
事業報告書

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

公益社団法人日本ボート協会

平成28年度事業報告（概要）

平成28年度においても、定款に定める各事業を推進し、以下の事業について重点的に実施した。

「日本の地域社会でボート競技の普及を図る」においては、全国ボート場所在市町村協議会との連携強化を継続するとともに、2020年オリンピック事前キャンプ誘致活動についてFISA臨時総会を中心に実施した。また、「第29回全国マシローイング大会」と「お台場レガッタ2016」を開催。マシローイング大会には4,300名を超える参加があった。

「ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上を図る」においては、4月に行われたリオデジャネイロ・オリンピック大陸予選で2種目（軽量級男女ダブルスカル）の出場権を獲得し、本大会では上位入賞を目指したが、残念ながら達成できなかった。技術力向上の重要なキーとなるコーチ体制においては、フランスから招聘したギザピエ氏を新たにナショナル・スポーツディレクターとして任命し、2020年に向けたジュニアからトップチームまでの一貫した継続育成強化活動を展開し、加えて強化戦略プランのもと国内強化合宿および海外遠征を行うことにより、ナショナルチーム全体では着実に競技力向上が図られてきている。

本年も日本スポーツ振興センター(JSC)の活動助成を引き続き受け、ボートに適したタレントの発掘のためのトライアウト活動の質的向上を図るとともに育成に重点を置いた活動を推進した。

「ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会を開催する」においては、今年度は12大会を開催する計画であったが、熊本地震により全日本マスターズレガッタの開催を断念し、11大会を開催した。ここに改めて被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げる。

「日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会へ派遣する」においては、代表選考会議にて決定した派遣基準に基づき、シニア、U23およびU19日本代表派遣選手を選定した。国際大会派遣については、シニアは最重要イベントと位置づけるリオデジャネイロ・オリンピックをはじめ7大会へ派遣し、U23は世界U23選手権、ジュニアは世界ジュニア選手権並びにアジアジュニア選手権に派遣し、積極的に国際競漕機会の増加に努めた。

「ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定」においては、ボートコースの新規・更新認定業務を5コースについて実施した。また、東京都が計画している「海の森水上競技場」の建設に関して、関係者と実施設計、競技運営上並びにオリンピック後の利用等の課題について、協議と交渉を継続して実施した。

「ボート競技の研究・指導・審判員及び指導者の育成、ボートに関する広報事業」においては、審判員の大会派遣、研修と養成の定期的な実施に加えて、FISA主催大会へ9名、ARF主催大会に6名の国際審判員を派遣した。また、指導者のレベル向上を目的に指導者養成講習会、インストラクター、セーフティアドバイザー、上級コーチ養成事業を実施した。

ボートに関する広報事業については、「ROWING」の定期発行、ホームページのグレードアップ、コンテンツの充実を実施した。

メディカルサポートについては、協会主催大会の医事業務、ドクターとトレーナーの連携により、選手のコンディショニングの管理、スポーツ栄養に関する啓発活動を行った。アンチ・ドーピング検査は、今年度もtoto助成事業として、国内4大会、50検体について実施した。

「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」においては、「暴力問題」および「各ハラスメント撲滅」に引き続き注力し、更に裁定委員会制度、内部通報制度、コンプライアンス規定の啓発活動

を実施した。4月に新しくアスリート委員会を設置し、代表選手をはじめとするトップ・アスリートの声を集約できる体制を目指すとともに当該委員会中心にシーズンを通して熊本地震募金活動を行った。

また、財政基盤強化のため強化募金活動を継続し、新たにスポンサーシップ・プログラムの販売を開始した。

平成28年度実施事業

本会は、ボート競技を振興して、日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することにより、わが国の文化の向上に寄与することを目的として、本年度下記の事業を行った。

1. 日本の地域社会でボート競技の普及に関する事業

(1) 全国ボート場所在市町村協議会との連携

先に実施した「ボート競技普及プロジェクト」を通じ、「全国ボート場所在市町村協議会」加盟の各水域をはじめ、全国主要水域のボート普及環境の整備と2020年東京オリンピックの事前キャンプ誘致に関する活動を連携して推進した。

(2) 全国マシンローイング大会の開催

第29回全国大会を平成28年10月～平成29年1月にかけて、全国9ブロックと全国19拠点で、総計4,304名の参加者をもって開催した。

(3) 「お台場レガッタ2016」の開催

ボート人口増大、魅力向上プロジェクトの一環として、一般愛好者、初心者参加を募り、参加者、観客が共に楽しめ、ボート競技の魅力を体感できる「ボートイベント」として、「お台場レガッタ2016」を6月19日(日)、東京都内のお台場海浜公園で開催した。本事業は、今年度もJSCスポーツ振興くじ助成金事業の「スポーツ活動推進事業」として実施した。

(4) 関連団体の活動支援

中学生、高校生および障がい者のボート競技振興を図るため、全国中学校ボート連盟、全国高等学校体育連盟ボート専門部およびNPO法人日本パラローイング協会の活動に対し、助成金交付と支援を行った。

2. ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上に関する事業

(1) 選手強化事業

平成28年度は、以下の選手強化合宿事業を実施した。

| 区分 | 対象 | 事業名 | 開催日程 | 開催場所 | 参加人数 |
|-------------|----------|--------|------------------|--------|------|
| シニア ・U23 | ナショナルチーム | 国内強化合宿 | 4/1(金)～4/22(金) | 戸田 | 35名 |
| | ナショナルチーム | 国内強化合宿 | 6/6(月)～7/22(金) | 戸田 | 18名 |
| | ナショナルチーム | 国内強化合宿 | 8/1(月)～8/14(日) | 戸田 | 6名 |
| | ナショナルチーム | 国内強化合宿 | 12/5(月)～12/18(日) | 戸田 | 59名 |
| | ナショナルチーム | 国内選考合宿 | 1/4(水)～1/14(土) | 長野 | 38名 |
| | ナショナルチーム | 国内選考合宿 | 2/13(月)～2/26(日) | 戸田 | 66名 |
| | ナショナルチーム | 国内選考合宿 | 3/6(月)～3/30(木) | 戸田・小見川 | 58名 |

| 区分 | 対象 | 事業名 | 開催日程 | 開催場所 | 参加人数 |
|------|----------|--------|-----------------|------|------|
| ジュニア | ナショナルチーム | 国内強化合宿 | 6/21(水)～6/27(日) | 熊本 | 18名 |
| | ナショナルチーム | 国内強化合宿 | 7/6(水)～7/21(日) | 熊本 | 6名 |

(2) 競技者育成事業

本年度も、JSCスポーツ振興くじ助成事業の「将来性を有する選手の発掘および育成強化事業」として以下の事業を実施した。

■ U19発掘育成合宿

| 事業名 | 開催日程 | 開催場所 | 参加人数 |
|---------|-----------------------|------|------|
| 第1次強化合宿 | 12/18 (日) ~ 12/22 (木) | 戸田 | 82名 |
| 第2次強化合宿 | 1/20 (金) ~ 1/24 (火) | 戸田 | 77名 |

(3) タレント発掘事業

本年度も、JSCくじ助成事業として、以下の事業を実施した。

① タレント発掘

トライアウトを継続して実施し、27年度2,735名に対し、今年度は1,690名となった。これはターゲットを絞った結果であり、質の高いトライアウトとなった。

② メダルポテンシャルアスリート海外遠征

| 派遣大会 | 開催日程 | 派遣場所 |
|---------------|-----------------------|--------------|
| ドイツ国際ジュニアレガッタ | 4/30 (水) ~ 5/10 (火) | ドイツ・ミュンヘン |
| Holland Beker | 5/25 (水) ~ 6/ 7 (火) | オランダ・アムステルダム |
| オランダ育成合宿 | 8/21 (日) ~ 8/30 (火) | オランダ・アムステルダム |
| 香港レガッタ | 10/28 (金) ~ 10/30 (日) | 中国・香港 |
| 香港タレント育成合宿 | 2/10 (金) ~ 2/18 (水) | 中国・香港 |

③ メダルポテンシャルアスリート国内育成合宿

メダルポテンシャルアスリートについては、戸田ポートコースを中心に計13回の国内育成合宿を実施した。

④ タレント育成選手国内育成合宿

タレント育成選手A・Bにおいては、各地において延べ49回の国内育成合宿を実施した。

3. ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会の開催に関する事業

平成28年度は、全日本選手権大会および各種競漕会を以下のとおり開催した。なお、5月に予定していた第9回全日本マスターズレガッタは熊本地震により中止とした。

| 大会名 | 開催期日 | 開催地・会場 |
|--------------------------------------|---------------------|--------------------|
| 第38回全日本軽量級選手権大会 | 5/27 (金) ~ 5/29 (日) | 埼玉県「戸田ポートコース」 |
| JOCジュニアオリンピックカップ 第14回全日本ジュニア選手権大会 | 6/10 (金) ~ 6/12 (日) | 熊本県「菊池市斑蛇口湖ポート場」 |
| 第66回全日本社会人選手権大会 | 7/ 2 (土) ~ 7/ 3 (日) | 埼玉県「戸田ポートコース」 |
| 第36回全日本中学選手権競漕大会 | 7/23 (土) ~ 7/24 (日) | 石川県「津幡ポートコース」 |
| 第64回全日本高等学校選手権競漕大会 | 7/29 (金) ~ 8/ 1 (月) | 島根県「さくらおろち湖ポートコース」 |
| 第57回全日本新人選手権大会 | 8/19 (金) ~ 8/21 (日) | 宮城県「長沼ポートコース」 |
| 第43回全日本大学選手権大会 | 9/22 (木) ~ 9/25 (日) | 埼玉県「戸田ポートコース」 |
| 第56回オックスフォード盾レガッタ | 9/24 (土) ~ 9/25 (日) | 埼玉県「戸田ポートコース」 |
| 第71回国民体育大会ボート競技大会 (岩手国体) | 10/6 (金) ~ 10/9 (日) | 岩手県「田瀬湖ポート場」 |

| | | |
|----------------|--------------------|----------------|
| 第94回全日本選手権大会 | 11/10(木)～11/13(日) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| 第28回全国高等学校選抜大会 | 29/3/18(土)～3/20(月) | 静岡県「浜松市天竜ボート場」 |

4. 日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会に派遣することに関する事業

(1) 国際競漕大会派遣事業

平成28年度は、以下の国際競漕大会に日本代表クルー・役員を選定して派遣した。

■シニア

| 派遣大会名 | 開催期日 | 開催国・会場地 | 派遣選手数 |
|--------------|-----------------|---------------|-------|
| ワールドカップI | 4/15(金)～4/17(日) | イタリア・バレーゼ | 6名 |
| オリンピック大陸予選 | 4/23(金)～4/25(日) | 韓国・忠州 | 4名 |
| オリンピック世界最終予選 | 5/23(月)～5/25(水) | スイス・ルツェルン | 4名 |
| ワールドカップII | 5/27(金)～5/29(日) | スイス・ルツェルン | 8名 |
| リオデジャネイロ五輪 | 8/6(土)～8/14(日) | ブラジル・リオデジャネイロ | 4名 |
| 世界選手権 | 8/21(土)～8/28(日) | オランダ・ロッテルダム | 4名 |
| アジア選手権 | 9/9(金)～9/12(月) | 中国・嘉興 | 25名 |

■U23

| 派遣大会名 | 開催期日 | 開催国・会場地 | 派遣選手数 |
|----------|-----------------|-------------|-------|
| 世界U23選手権 | 8/21(土)～8/28(日) | オランダ・ロッテルダム | 12名 |

■ジュニア

| 派遣大会名 | 開催期日 | 開催国・会場地 | 派遣選手数 |
|------------|-------------------|-------------|-------|
| 世界ジュニア選手権 | 8/24(水)～8/28(日) | オランダ・ロッテルダム | 24名 |
| アジアジュニア選手権 | 10/24(月)～10/27(木) | タイ・パタヤ | 12名 |

(2) 国際審判員派遣事業

平成28年度は、以下国際競漕大会へ国際審判員を派遣した。

①FISA主催大会

| 派遣大会名 | 開催期日 | 開催国・会場地 | 審判員 |
|--------------------------------|-----------------|---------------|--------------|
| ワールドカップI | 4/15(金)～4/17(日) | イタリア・バレーゼ | 中島大祐 |
| オリンピック大陸予選 | 4/23(金)～4/25(日) | 韓国・忠州 | 千田隆夫 田畑喜彦 |
| ワールドカップIII | 5/27(金)～5/29(日) | ポーランド・ボズナム | 松田雅彦 |
| リオデジャネイロ五輪 | 8/6(土)～8/14(日) | ブラジル・リオデジャネイロ | 隈元幸治 |
| 世界選手権 世界U23選手権 世界ジュニア選手権 | 8/21(土)～8/28(日) | オランダ・ロッテルダム | 田畑喜彦 |
| FISU世界大学選手権 | 9/2(金)～9/4(日) | ポーランド・ボズナム | 塚田秀樹 |
| 世界マスターズ | 9/8(木)～9/11(日) | デンマーク・コペンハーゲン | 松田雅彦 |

②ARF主催大会

| 派遣大会名 | 開催期日 | 開催国・会場地 | 審判員 |
|---------|-------------|----------|------|
| アジアカップI | 6/4(土)～5(日) | イラン・テヘラン | 塚田秀樹 |

| | | | |
|-----------|--------------------|----------|---------------|
| アジアカップⅡ | 7/28 (木) ~31 (日) | シンガポール | 岩尾弘敏 譜久山明子 |
| アジア選手権 | 9/8 (金) ~12 (日) | 中国・嘉善 | 竹内浩人 山田真司 |
| アジアビーチゲーム | 9/24 (土) ~10/3 (日) | ベトナム・ダナン | 隈元幸治 |

(3) 国際関係事業

- ①国際連盟の事業方針、競技規則、大会開催計画、各国の動向など、最新情報を把握するため、平成28年度は、FISA、ARF総会へ担当役員他を派遣した。

| 会議名 | 会議日程 | 開催国・会場 |
|---------------------|---------|-------------|
| 国際ボート連盟 (FISA) 通常総会 | 8月29日 | オランダ・ロッテルダム |
| アジアボート連盟 (ARF) 総会 | 9月11日 | 中国・嘉興 |
| 世界ボート連盟 (FISA) 臨時総会 | 平成29年2月 | 東京 |

②国際連盟における役員について

(新役員および役職)

| 国際連盟役職 | 氏名 | 本会役職 |
|-----------------|-------|---------|
| FISA理事 | 細淵 雅邦 | 理事 |
| ARFコースタルローイング委員 | 隈元 幸治 | 審判委員会委員 |

(既存役員および役職)

| 国際連盟役職 | 氏名 | 本会役職 |
|-------------------------------|-------|----------------------|
| FISA審判委員/ARF審判委員 | 千田 隆夫 | 理事・国際委員長 |
| FISAスポーツ医科学委員 ARFスポーツ医学委員長 | 日浦 幹夫 | 理事 |
| ARFプロモーション・広報委員 | 加藤 直美 | 理事・アスリート委員長 |
| ARFパラローイング委員 | 岡本 悟 | 競技委員会オフィサー・パラローイング担当 |
| ARF競技委員 | 叶谷 彰宏 | 国際委員会委員 |
| ARFマスターズ委員 | 田畑 喜彦 | 国際委員会委員 |

(4) 国際大会等に関する事業

平成28年度は、2020特別委員会を設置し新たに下記①および②の事業を推進した。

①2017年FISA臨時総会開催

平成29年2月10日(金)~11日(土)東京・品川において、2017年FISA臨時総会をFISA主催、本会主管で開催した。本会議には63カ国より代表者が参加し、FISA役員並びにJARA役員等総勢180名の会議となった。また本会議はJSC・国際会議開催助成を頂き実施した。本会議においては、主議題として2020オリンピックの種目案について審議された。

- ②2020年東京オリンピックのリハーサル大会として行われる、2019年世界ジュニア選手権大会および2020年東京オリンピック大会の開催に必要な情報の収集と準備を、東京都オリンピック・パラリンピック準備局、2020オリンピック・パラリンピック組織委員会およびFISAと連携して実施した。

③日韓交流事業

日本と韓国とのボートを通じた交流を促進するため、隔年ごとにお互いの選手団を招待し合っている。今年度は、5/27～29開催の「第38回全日本軽量級選手権大会」に、韓国チーム計6名（選手4名、役員2名）を招待した。

5. ボート競技の諸規則・諸規定の制定および競技用具の審査と検定に関する事業

(1) コース認定

今年度は、以下の更新認定と新たな申請のあったコースについて実施した。

| コース名 | 更新区分 | 所在地 | 認定級 | 距離・レーン数 |
|---------|------|----------|-----|-------------|
| 愛知池 | 更新 | 愛知県・東郷町 | B級 | 1,000m・7レーン |
| 下諏訪漕艇場 | 更新 | 長野県・下諏訪町 | B級 | 1,000m・7レーン |
| さくらおろち湖 | 更新 | 島根県・雲南市 | B級 | 1,000m・5レーン |
| 大阪浜寺コース | 更新 | 大阪府・高石市 | B級 | 1,000m・6レーン |
| 琵琶湖漕艇場 | 更新 | 滋賀県・大津市 | B級 | 1,000m・6レーン |

6. ボート競技の研究・指導・審判員及び指導者の育成、ボートに関する広報に関する事業

本年度は、以下の事業を実施した。

(1) 調査・研究関係事業

(財) ミズノスポーツ振興財団の助成金交付を受け、艇上の三次元加速度センサー測定装置を用いた艇の動きに関する調査、研究を実施した。

(2) 審判事業および審判員養成事業

- ①本年度も本会主催・主管大会へ審判長、副審判長および審判員を派遣し、大会審判業務を行った。
- ②審判員の養成と技量向上を図るため、以下の審判員資格試験と認定試験および審判員研修会と講習会を開催した。

| 研修会名称 | 開催日程・場所 |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 第86回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催) | 5/27(金)～5/29(日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」 |
| 公認審判員セミナー (B級審判員認定試験併催) | 6/10(金)～6/12(日) 熊本県菊池市「斑蛇口湖ボート場」 |
| B級審判員認定試験 | 9/22(木)～9/25(日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」 |
| 公認審判員セミナー | 8/21(木)～8/24(日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」 |
| 第87回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催) | 11/10(木)～11/13(日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」 |
| 審判員講習会(C級審判員認定試験) | 都道府県協会の要請により随時開催 |

(3) 公認スポーツ指導者養成事業

(財) 日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業による公認スポーツ指導者養成講習会について、本年度は以下の日程で講習会を開催した。

| 講習会名 | 開催日程 | 開催場所 |
|-------------|--|------------------------|
| 公認上級コーチ養成講座 | 平成29年1/6(金)～1/9(月) | 愛知県名古屋市・金山研修センター |
| 公認コーチ養成講習会 | 11/19(土)～11/23(水) | 埼玉県・戸田市 |
| 公認指導者養成講習会 | 前期:11/26(土)～11/27(日) 後期:12/3(土)～12/4(日) | 大阪府高石市マリンスポーツ パーク浜寺 |

| | | |
|----------|---------------------|---------|
| 資格更新義務研修 | 4/22 (金) | 中日本レガッタ |
| | 5/1 (日)～5/4日 (水) | 朝日レガッタ |
| | 11/26 (土)～11/27 (日) | 東地区：宮城県 |
| | 11/26 (土)～11/27 (日) | 中地区：石川県 |
| | 12/3 (土)～12/4 (日) | 西地区：山口県 |

(4) 日本ボート協会認定ボートインストラクター養成事業

本会認定ボートインストラクター養成については、本年度は以下の日程で講習会を開催した。

| 事業名 | 開催日程 | 開催場所 | 主管団体 |
|-------|------------------|---------|------------------|
| 義務講習会 | 4/9 (土) 4/29 (金) | 兵庫県加古川市 | 日本ボート協会・兵庫県ボート協会 |

(5) 日本ボート協会認定セーフティアドバイザー研修事業

本会認定セーフティアドバイザー研修については、本年度は以下の日程で研修会を開催し、各水域や団体における安全責任者も受講の対象とした。

| 事業名 | 開催日程 | 開催場所 |
|-----|----------|---------|
| 研修会 | 1/22 (日) | 埼玉県・戸田市 |
| 研修会 | 2/5 (日) | 岐阜県・川辺町 |

(6) ボートに関する広報事業

本年度は、以下の事業を実施した。

①協会広報誌「ROWING」の発行

本年度は、大幅なリニューアルを行い、6回の定期発行を行った。

②本会公式ホームページ

ホームページの速報化と強化関連を中心に掲載情報量のアップを図るとともに、現状の本会の事業・広報活動に合わせた内容にリニューアルした。

③報道機関、マスコミへの対応・協力

本年度は、リオデジャネイロ・オリンピック代表選手決定に合わせ、壮行会等を通じニュースリリース等を発信し、報道機関へのニュースソース提供を積極的に行った。

また、昨秋東京都による2020オリンピック・パラリンピックボート競技会場の見直しに伴うメディア対応を行った。

(7) メディカルサポート、ドーピング検査事業

①戸田ボートコース開催の全日本選手権大会（全日本、全日本軽量級、全日本大学および全日本社会人）へ医師、看護師を派遣し、救急医事業務を行った。

②ドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の委託事業として、第38回全日本軽量級選手権大会、第57回全日本新人選手権大会、第43回全日本大学選手権大会および第94回全日本選手権大会において大会内ドーピング検査を実施した。

③JADAと連携して、競技団体・選手を対象にアンチ・ドーピングに関する以下の普及・啓発講習会を開催した。

■アンチ・ドーピング研修会

| 事業名・大会名 | 実施日 | 受講者数 |
|--------------|----------|------|
| 指導者義務研修 | 4/23 (土) | |
| 第43回全日本大学選手権 | | 65名 |

■アウトリーチプログラム

| 事業名・大会名 | 実施日 | 受講者数 |
|--------------|----------------|------|
| 第69回朝日レガッタ | 5/2(月)～5/3日(火) | 351名 |
| 第43回全日本大学選手権 | 9/25(日) | 232名 |

④国内・海外強化合宿、海外大会へトレーナーを帯同させ、選手のコンディショニング維持・改善および指導等を行った。

(8) スポーツマンシップの育成と競技者資格の決定に関する事業

①競技団体、競技者の登録

平成28年度の競技団体、競技者登録を行うとともに、当該年度の登録状況を継続して把握した。

②審判員管理システムの運用

審判員の資格把握、審判技術の向上、従事履歴等の管理システムを各都道府県単位で継続して管理、運用した。

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 協会財政基盤の強化

日本オリンピック委員会(JOC)、JSC、その他団体と個人に対して支援をお願いし、前年比較で72百万円増(JSCタレント発掘育成助成金32百万円増、JOC交付金・助成金40百万円増)となった。強化募金については本年も継続して協力をお願いし、選手強化事業の財源とした。更に今年度より新たに日本ボート協会スポンサーシップ・プログラムを開発し、その販売を開始した。

(2) ボート人口増大活動の継続

「オリンピックの教えるエルゴ教室」や「ボートサミット」、そして「全国交流レガッタ」等を通じ各都道府県ボート協会、全国ボート場所在市町村協議会、その他の関連団体等との連携を強化しながら全国の関係団体・個人との交流を推進した。また、各地でボート競技の振興を図るため、国内各地のボート競技会開催を後援した。

(3) 公益法人に関する業務の推進

公益法人のもとで協会運営を行うために、必要な各種規定・規則類のさらなる整備と改定を行った。

以上

平成28年度事業報告 附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年3月31日

公益社団法人 日本ボート協会